

第7回目

大木 眞慶寺 青木義恭師



発行責任者

員弁組連研部会長

蓮成寺 藤田 智善

第7回目のテーマ

「仏事作法とアンケート」

①これまでの仏事作法でもう一度聞きたいことをお書きください。

●葬儀や法事の必要性

(若い者に迷惑をかけたくない。)

人生最後の儀礼である葬儀は、亡くなられた方の死を悼み弔う行いです。弔うとは、人の死を悼み、喪にある人を慰める事です。大切な家族の死に遭遇して、悲しみ嘆くと同時に、その悲しみを皆で慰める行いだったのでしよう。その葬儀を執り行う意味は、愛別離苦の究極の悲しみを縁として、亡き人の願いに気づかされる場ではないでしょうか。生前中、自分の気づかなかった事や何を願っていたなどを、永らくお付き合いを頂いた仲間の方々にお教え頂くのではないでしょ

うか。そして仏教の説く心理に目覚めて行く、大切なご縁なのです。若い者に迷惑をかけるのではなく、大切な事柄に出遇い学ぶ場なのです。法事を勤めるとき、年忌をむかえる方の為にと考えがちですが、年忌を縁として、み教えを相続して行くことが大切です。親戚一同が共に聞く姿を通して、その場では理解できなくとも、将来何かに苦悩する時、解決の指針となるでしょう。

●葬儀で焼香前後にする遺族に対する一礼のタイミングと位置は？

地方、地域によって、また宗旨によって、様々な作法が存在します。ある所では開式前に事細かに説明を受けることもあります。然しながら、こう出なければ為らないと定まった作法は、本願寺派にはありません。導師や尊前での一礼をして去り際に一礼頂ければと考えます。

●焼香の前進が左から、後退右からの理由は？

本願寺派の作法では、現在進むときは左足、退くときは右足からと定められております。いつ頃より定められたかはわかりませんが、宗旨によって違いがある

第1期 連研だより

月ようです。また一般に作法にも、流儀に
2 よって違いがあります。

●お仏壇の花やお供え物の飾り方。

1 8 お仏壇の花は、具足の花瓶に立て前卓
1 上にお供えします。三具足の時は向って
左側に一杯立てます。五具足の時は両端
2 0 1 に一対立てます。お供え物は、餅を最上
とします。次に菓子、果物の順に供えま
す。

報恩講の時は、小餅を積み重ねて華東に
盛り、供笥を用います。基本は須弥壇上
の上卓の横に供えます。

年忌法事の時は、丸餅をお供えします。

正月は鏡餅を供えます。

供笥の代わりに高坏を用いても結構です。

多い時は下段に盆等に供えても結構です。

●ローソク・線香は参るだけでも点けな
くてはいけないのか？

お勤めをする時点けます。灯明も供香
も阿弥陀様の働きを表し、お供えするも
のです。点けなくてはいけないのでは無
く、お供えさせて頂く物です。

●お経の解釈について

(読んでいるが中味がわからない)

日本では、漢文を棒読みしているので、

何が説かれてあるのかなかなかわかりに
くいものです。解り易くお話しして下さ
るのがご法座です。お寺に参り聴聞下さ
い。解説本も沢山出版されておりますの
でお読みください。

●各寺で法事の作法の違いはなぜ？

法事に限らず、それぞれの法要で、必
ずこの作法次第で勤めなければならな
いと定められておりません。地方や地域の
習慣、また各寺院によっても様々です。
ご住職のはからいに委ねられております。

●作法から外れると信心ができないの か？

作法は、仏様のお徳をお讃える為の、
無駄のない美しい所作たらんと定められ
たものです。他宗派では自身が悟らんと
して発願して行ずる行為を信心といいま
す。浄土真宗では、私が出来る出来ない
の行いではなく、阿弥陀様から給わる信
心と頂きます。

②ご自身が法事・報恩講で疑問に思った ことはありますか？

●お経の前後の「南無阿弥陀仏」は何回
となえるのですか？

回数に決まりは有りません。合掌して
だいたい二息ほど、または仏前で調声す
る人に合わせてお唱え頂いたら宜しいか
と思います。

●お布施の渡し方は？

様々な場合があります。前もってお寺
に持参される場合、当日始まります前
にお渡しする場合、お勤めが終わって
お渡しする場合、後日(当日)お寺に持参され
る場合とあります。いずれでも結構です。
盆等に載せてお渡しされるとよいでし
う。

●仏飯のお供えは必ず朝でないため
ですか？

仏飯は、朝お供えしておお昼までに下
げるのが基本です。朝炊いたご飯を一番
に供え、お勤めの後、下げてお下がり
をいただきます。生活様式の変化で、
朝ご飯を炊かれない場合が増えてきてお
ります。その場合は、その日に炊いた一
番をお供えしましょう。

2月 ● 仏華の立て方。

池ノ坊琉の立華を起源としております。現在は、やや変化をして左右対称に近い生け方になっております。

2018年 ● ローソクの白・赤の使い方と意味。

白は一般・三回忌までの年忌法要。赤は報恩講・七回忌以降の年忌法要。金は慶讃法要・結婚式(赤でも可)。

は葬儀・中陰(白でも可)

赤蠟燭(朱蠟燭)の意味

一般に慶時の時に目出度い色として用いますが、浄土真宗では、お念仏のみ教を身命をを賭して守り抜いて今日までお伝えいただいた親鸞聖人をはじめ、多くの先人のご恩徳に感謝し、ご遺徳を偲ばせていただく意味があると、聞かせて頂いております。

第11期

● 線香はなぜ折って供えるのか？

お香を仏前にお供えする事を燃香と言います。その場合、具足の金香炉の前に土香炉を置いて燃香します。昔は土香炉に抹香を棒状に敷き詰めて焚いておりま

した。それが線香に代わりました。線香の長さも色々あり、また香炉の大きさも区々ですので、香炉王に入る長さに調節しておるのです。因みに本数ですが、決まりはなく、火の点いている部分が二乃至六本と言われております。

● 位牌は報恩講ではどう置けばよいですか？

基本的に本願寺派では位牌は用いませぬ。多分操出法名の事と思いますが、須弥壇・脇壇上には安置致しません。向かって左側の中段壁より内を向けるか、下段の脇にご安置頂ければと思います。

● 位牌の板が多く一杯になったらどう取り扱ったらよいか？

過去帳に移されれば宜しいかと思えます。

● 法事の焼香は寺によってする・しないがあるが本来はするべきなのか？

焼香には四つの意味があると言われます。一つには、香りを薫じて仏にお供養する。二つには、香の香りでもって自身

の垢を清めて心を清める。三に、妙香でもって浄土を思い浮かべ仏恩を喜ぶ。四つに、香の燃え尽きる煙と灰で、我身の無常を悟る。この様に心を致して焼香するならば、あるが宜しい。焼香盆を用意されたらと思えます。

● 大根の味噌汁はどうして出るのか？

報恩講のお齋は、地方によって区々です。それぞれの地方によって。その食材と調理法も多岐にわたっております。この地方においては、秋の刈り入れを済ませた12月の一番のご馳走だったのでしよう。報恩講と言えば、皆さん一番に大根汁を思い浮かべるようです。

● 最近、報恩講の参拝者が減少しています。各お寺はどうですか？若い人も参拝して。

皆さんが子供のころはどうでしたでしょうか。爺さん婆さんに連れられて、お菓子目当てについていきませんでしたか。仏法に親しみやすい様に子供のころか敷居を下げてくれてたんでしょね。

第1期 連研だより

2018年2月

●通夜・葬儀で式章を付けると周囲の視線が気になるが本来着けるべきか？

式章は、仏教徒の正装です。何れの場でも気にせず着けて頂きたいものです。

●住職の呼び方は「おしょうさま」？「いんげさま」？ベストは？

宗派や地域によって違いがあるようですが、この地方では親しみを込めて「ご院家さん」(ごえんさん)と呼びならわしてきました。

●ある寺では食事なしでお布施のみ、家族のみの法事報恩講などが行われているが。

年忌法事を勤めるのも、報恩講を勤めるのも、親鸞聖人を偲び故人を偲んで、仏法に出遭わせていただいた事を喜ばせて頂く大切な営みです。その喜びを少しでも多くの方々と分かち合うために食事をもてなしました。これも大切な布施なのです。布施は出来る事を精一杯喜捨する事です。出来る範囲でお勤めください。

③これまでの話し合い法座では十分に意見を出すことができたか？

●プライベートな事もあるので十分ではない。

●なかなか出せないが、皆さんの意見が聞けたことで満足している。

●自分なりに出来たと思う。

●もう少し若い時に受けたかったが、歳を重ねると聞きたい事、疑問が多くなる。

半年が過ぎ、だんだんと活発に意見が出され、自分とは違った考えや意見も窺えて、より深い疑問に気づいてきたのは無いでしょうか。年を重ねたからこそ見えてきたものもあると思います。

④これまでのテーマで解らないこと・もう一度聞きたいことをお書きください。

●テーマが抽象的で十分にわかりません。

●自分の内面を掘り下げること怖さを感じます。

だんだんと、意識が外から内に向いてきているのではないのでしょうか。解らないことに気づくことも、自己を知る恐ろしさも大切な過程です。

●仏壇・お墓はどう扱うのが良いか。

お仏壇は仏様をご安置するところであり、我が家の中心に据えてあるのは、日々の生活を仏法を抛り所として歩む為に仏様をお迎えしているのです。

●家族葬について ①を参照ください。

●葬儀や法事は何のためにするのか？

①を参照ください。

●祭壇に向かう進路を聞きたい。

祭壇→荘厳壇と言います。進み方は配置によって変わりますので、その場の指示に従ってください。

●仏法の幸せとは？生活の幸せとは？

私たちの求めている幸せの形は深く考えてみますと、自身の願いの先に見据えているのではないかと思います。

然しながら、その願いはなかなか全て叶える事は出来ません。譬え願いが叶ったとしてもそこで満足することは出来かねます。この連研を通してほんのうの幸せとは何かを考えてみて頂きたいと思います。